

令和2年3月28日(土) 15時 開通予定

深川・留萌自動車道 幌糠留萌道路 留萌大和田IC～留萌IC

～道内初！高規格幹線道路が全線開通～

国土交通省が整備を進めてきた深川・留萌自動車道(留萌大和田IC～留萌IC)が、令和2年3月28日(土)に開通する。

また、今回の開通により、深川・留萌自動車道が全線開通となり、道内の高規格幹線道路として道内初の全線開通となる。

【開通区間】
深川・留萌自動車道 幌糠留萌道路(留萌大和田IC～留萌IC)／延長4.1km

【開通による整備効果】
◇都市間を結ぶ高速ネットワークを形成
約20年をかけて整備が進み全線開通を迎える深川・留萌自動車道は、最大で4,400台の車両に利用されている。

深川・留萌自動車道の整備に伴い、規格の高い道路への交通転換が進んでいる。

今回の開通により、さらなる交通量の増加が期待される。

◇北海道ブランドのホタテ

野減される。根室道路は「命の道」として、確実に安定した救急搬送を支援する。

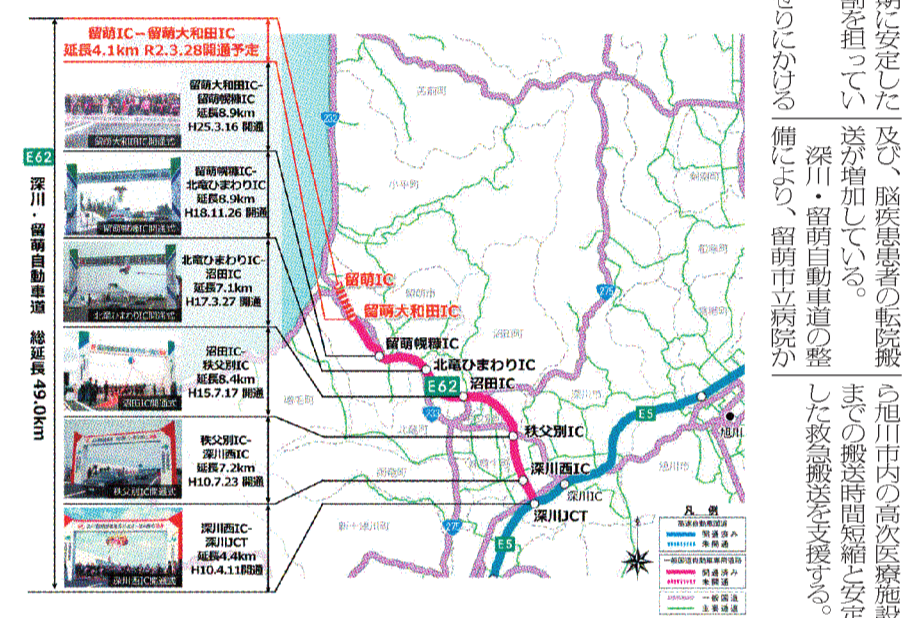
◇「根室産生さんま」の安定的な出荷を支援
全国第一位の漁獲量を誇る「根室産生さんま」は、北海道横断自動車道等を通り、400km以上離れた札幌市や、苫小牧港を經由して東京都中央卸売市場へ出荷されている。

今回の根室道路の開通により、消費地や輸送拠点へのアクセス性が向上し、安定的な出荷を支援する。

近年は、マイワシの漁獲量が急増し「根室産マイワシ(根室七星)」として道内外へ出荷している。

◇釧路・根室管内の観光活性化に貢献
北海道横断自動車道など高規格幹線道路ネットワークの延伸に伴い、釧路管内では外国人を含む観光入込が増加している。

東京市場のせりかけの供給を行う役割を担っている。深川・留萌自動車道の整備により、脳疾患患者の転院搬送が減少し、旭川市内の高次医療施設までの搬送時間短縮と安定した救急搬送を支援する。



令和2年3月22日(日) 14時 開通予定

根室道路 温根沼IC～根室IC

～根室地域の救急搬送、産業の発展、観光活性化を支援～

国土交通省が整備を進めてきた根室道路(温根沼IC～根室IC)が、令和2年3月22日(日)に開通する。

また、今回開通する根室道路は、根室管内で初めて開通する高規格幹線道路である。

濃霧や地吹雪による天候不良でドクターヘリが未出動となることが多い釧路・根室地域では、救急搬送の多くを陸上搬送が担っており、今回の開通により地吹雪による交通障害の影響が軽減される。

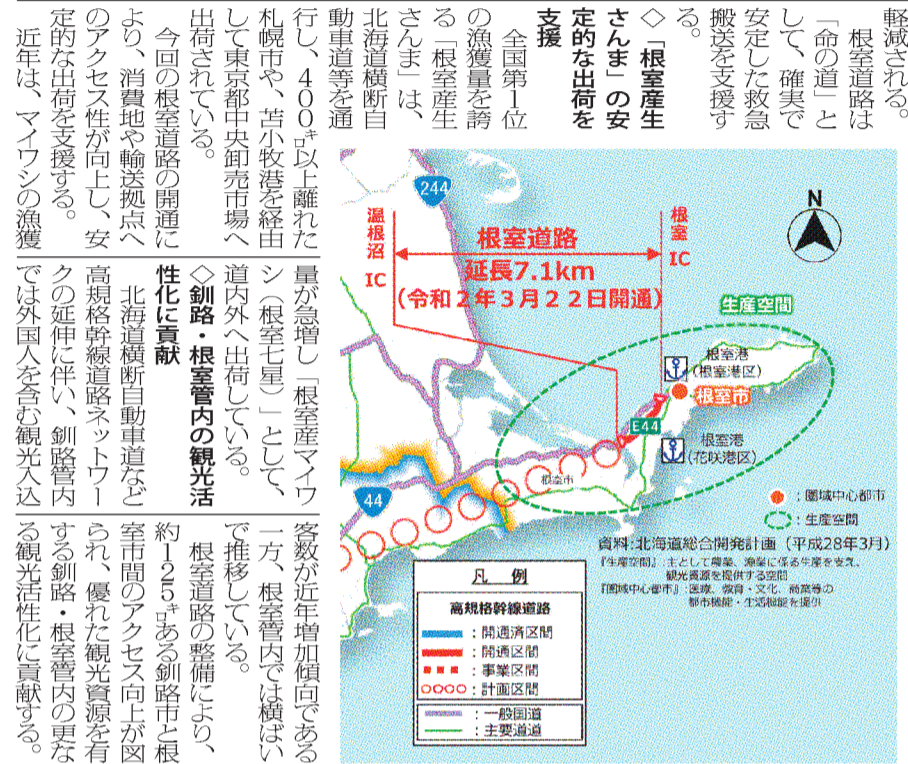
根室道路は「命の道」として、確実に安定した救急搬送を支援する。

◇「根室産生さんま」の安定的な出荷を支援
全国第一位の漁獲量を誇る「根室産生さんま」は、北海道横断自動車道等を通り、400km以上離れた札幌市や、苫小牧港を經由して東京都中央卸売市場へ出荷されている。

今回の根室道路の開通により、消費地や輸送拠点へのアクセス性が向上し、安定的な出荷を支援する。

近年は、マイワシの漁獲量が急増し「根室産マイワシ(根室七星)」として道内外へ出荷している。

◇釧路・根室管内の観光活性化に貢献
北海道横断自動車道など高規格幹線道路ネットワークの延伸に伴い、釧路管内では外国人を含む観光入込が増加している。



大府、堺市及び阪神高速道路株式会社が開通を進めてきた阪神高速6号大和川線(鉄砲～三宅西)が、令和2年3月29日(日)に開通する。

今回の開通により、大阪都心部における新たな環境道路(大阪都市再生環状道路)の二翼を担う大和川線の全線が開通する。

【開通区間】
阪神高速6号大和川線(鉄砲～三宅西)／延長7.7km

【開通による整備効果】
◇アクセスの向上
大和川線が開通することで、高速道路ネットワークが強化され、拠点間のアクセスと利便性が向上し、時間短縮につながる。現在、堺から松原JCT間の一般道経由での所要時間は約45分だが、大和川線利用により所要時間は約16分と、大幅な時間短縮が可能となる。

◇ネットワークの強化(都心部を回するルートの形成)
阪神高速道路ネットワークは、1号環状線を中心として放射状に広がっている。このため、放射線同士を行き来する交通は環状線を経由する必要があるが、その結果都心部では慢性的な渋滞が発生していた。大和川線が開通すると、環状線を回すルートが形成され、これにより、渋滞区間を避けたルート選択が可能となり、都心部の高速道路の渋滞緩和が期待される。

◇道路渋滞・混雑の緩和
現在、堺市と松原市を結ぶ東西の道路交通は大堀堺線などの幹線道路に集中しており、慢性的な渋滞が発生している。大和川線の全線開通により、東西の道路交通が大和川線に転換されることで、幹線道路の渋滞の緩和や事故の減少につながり、東西方向のアクセス性の向上に寄与することが期待される。

◇物流効率化の支援
奈良県内の製造業が集中する西名阪沿線地域と阪神港との間のアクセスが向上するなど、物流効率化の支援が期待される。

◇沿道環境の改善
大和川線の全線開通により、周辺の一帯の交通混雑が緩和され、車両の流れがスムーズになることで速度変化の少ない走行が可能になる。この効果により、二酸化炭素等の排出量が減少し、地球環境の保全・道路環境の改善に寄与することが期待される。

令和2年3月29日(日) 16時 開通予定

阪神高速6号大和川線 鉄砲～三宅西

～大和川線が全線開通！～

高速道路会社へ事業許可

国土交通省は、道路整備特別措置法第3条に基づき、

▽横浜北西線開通後の首都高速道路の料金
▽東京2020大会における首都高速道路の料金

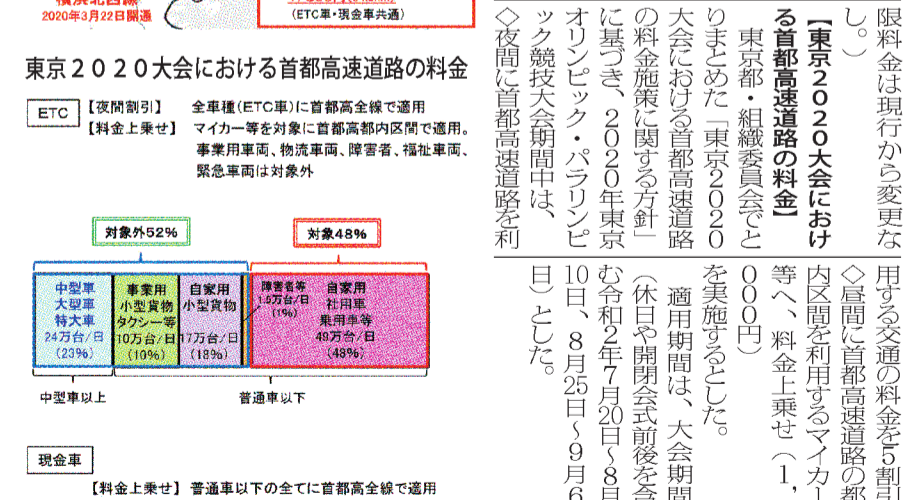
国土交通省は、道路整備特別措置法第3条に基づき、

【横浜北西線開通後の首都高速道路の料金】
北西線を迂回利用する交通を抑制するため、東名高速と北西線を連続利用する交通の上限料金を1,800円(普通車)に調整した。(東名高速と北西線を連続利用しない交通の上限料金は従来通り)

【東京2020大会における首都高速道路の料金】
東京都・組織委員会と「東京2020大会における首都高速道路の料金施策に関する方針」に基づき、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会期間中は、

◇夜間に首都高速道路を利用する交通の料金を5割引き(昼間に首都高速道路の都内区間を利用するマイカー等へ、料金を上乗せ(1,000円)を実施する)とした。

◇昼間に首都高速道路の都内区間を利用するマイカー等へ、料金を上乗せ(1,000円)を実施する)とした。



【開通区間】
阪神高速6号大和川線(鉄砲～三宅西)／延長7.7km

【開通による整備効果】
◇アクセスの向上
大和川線が開通することで、高速道路ネットワークが強化され、拠点間のアクセスと利便性が向上し、時間短縮につながる。現在、堺から松原JCT間の一般道経由での所要時間は約45分だが、大和川線利用により所要時間は約16分と、大幅な時間短縮が可能となる。

◇ネットワークの強化(都心部を回するルートの形成)
阪神高速道路ネットワークは、1号環状線を中心として放射状に広がっている。このため、放射線同士を行き来する交通は環状線を経由する必要があるが、その結果都心部では慢性的な渋滞が発生していた。大和川線が開通すると、環状線を回すルートが形成され、これにより、渋滞区間を避けたルート選択が可能となり、都心部の高速道路の渋滞緩和が期待される。

◇道路渋滞・混雑の緩和
現在、堺市と松原市を結ぶ東西の道路交通は大堀堺線などの幹線道路に集中しており、慢性的な渋滞が発生している。大和川線の全線開通により、東西の道路交通が大和川線に転換されることで、幹線道路の渋滞の緩和や事故の減少につながり、東西方向のアクセス性の向上に寄与することが期待される。

◇物流効率化の支援
奈良県内の製造業が集中する西名阪沿線地域と阪神港との間のアクセスが向上するなど、物流効率化の支援が期待される。

◇沿道環境の改善
大和川線の全線開通により、周辺の一帯の交通混雑が緩和され、車両の流れがスムーズになることで速度変化の少ない走行が可能になる。この効果により、二酸化炭素等の排出量が減少し、地球環境の保全・道路環境の改善に寄与することが期待される。



令和2年4月6日(月)～4月15日(水) 春の全国交通安全運動

4月10日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です